

2017 年度事業報告

NPO 法人 つみきの会

2017 年度は前年度を上回る 403 名の正会員の入会があった。2017 年度末の会員数は、正会員 1665 人、準会員 109 人、賛助会員 0 人、ゲスト会員 127 人、総計 1901 人であった。2017 年度の主な活動は以下の通り。

A. 公開セミナーなどの一般向け啓蒙活動

2017 年 6 月 11 日、神戸勤労会館にて、公開セミナー「ABA を療育、教育の現場にどう生かすか」を行った。講師：藤坂龍司（つみきの会代表）、青山千恵子（特別支援学校教員）。

B. 定例会など会員向け交流活動

2017 年度も各地で定例会を実施した。開催場所は、札幌、仙台、新潟、埼玉、東京、名古屋、北陸（金沢）、大阪、神戸、広島、福岡で、それぞれ年に 2～4 回の頻度で実施した。またいくつかの地域で会員有志による交流会も実施された（秋田、新潟など）。

C. 講習会などの療育支援事業

2017 年度も東京と神戸で ABA 支援者養成講座を開催した。また 1 月に神戸にはじめての ABA 療育支援員全国集会を開催した（ゲスト：松見淳子関西学院大学名誉教授）。全国からつみきの会認定を受けて各地で活躍する ABA 療育支援員が 10 数名参加し、松見先生の講義や、支援員による実践報告を聞いて、大いに刺激を受けた。

D. 発達障害児・者への直接支援事業

各地で発達相談を実施した。開催場所・頻度は、埼玉、東京、名古屋、大阪、明石で毎月実施。仙台で 4 か月に一度。ただし明石発達相談以外は 7 月から（株）NOTIA に事業委託をした。

E. 書籍・ビデオ・教材などの頒布事業

2017 年度は新たに「つみき BOOK：ABA 特別支援教育編」を発行した。そのほか、従来のつみき BOOK、つみきプログラム、裏つみきプログラムなどの会員向けテキスト、DVD、カード教材類がいずれも売り上げ好調であった。

F. 発達障害に関する調査研究事業

2017 年度は実験的に週 30 時間の早期集中介入を行う実践研究「W30 プロジェクト」を開始した。対象は関西在住の 1 家庭で、一年を通じて親御さんとセラピスト、合計週平均 29 時間のホームセラピーを実施し、良好な改善結果を得た。

以上、ご報告します。

2018年6月17日

NPO 法人つみきの会代表
藤坂龍司